パルチコフさんの（被爆）ヴァイオリンで紡ぐ

被爆から80年

平和への祈り

唯一現存する**被爆ヴァイオリン**は、ロシア革命の時に祖国を離れ、亡命先の広島で被爆したセルゲイ・パルチコフさんの大切な楽器でした。80年前の8月6日に19歳で原子爆弾の犠牲となった、河本明子さんが大切にしていたピアノは、**被爆ピアノ**として広島平和公園レストハウスに保管されています。21歳で被爆し、救援にあたる外国人神父の姿に接しシスターとなった、祖父の姉の残した手記とともに、平和への想いを伝えるため、伊藤さくら（Kurinoki Music）は、昨年被爆地にて平和祈念コンサートを開催しました。今年は**被爆ヴァイオリン**と**被爆ピアノ**の音色を鑑賞し平和を考える会を、**7月27日**に広島平和公園内レストハウスで行います。それに先立ち、この**被爆ヴァイオリン**に平和を願う気持ちを込めて演奏する機会を、兵庫県下でも頂くことが出来ました。一音一音にこめた平和への祈りを皆様と共有できることを願っています。

明子さんのピアノ

Kurinoki Music（プロフィールは裏面）
被爆ヴァイオリン演奏：伊藤さくら　チェロ・編曲：グスタフ・ヴォッヒャー

2025年7月21日（月・祝）　10:00～

カトリック夙川教会『平和旬間』ミサ

ミサの一環として、「**被爆ヴァイオリン**」の紹介と、
「**バッハ：主よ、人の望みの喜びよ**」他 を演奏いたします。

2025年7月21日　ミサ終了後　　入場無料

被爆ヴァイオリンとチェロで奏でる 平和への祈り　ミニコンサート

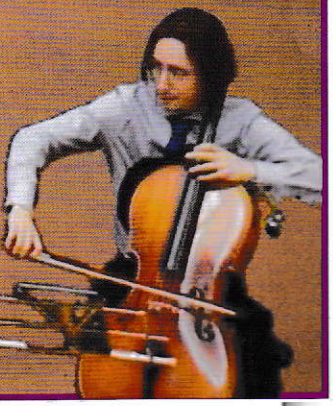
プログラム

バッハ：無伴奏ヴァイオリンソナタ第2番より

スペイン民謡（カザルス編曲）：　鳥の歌

グリエール：カンツォネッタ

スコリク（ヴォッヒャー編曲）：メロディ

ドヴォルザーク（ヴォッヒャー編曲）：　交響曲第9番”新世界より”第2楽章　家路

バッハ（ヴォッヒャー編曲）：　ピアノコンチェルト No.5 第2楽章　ラルゴ